



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

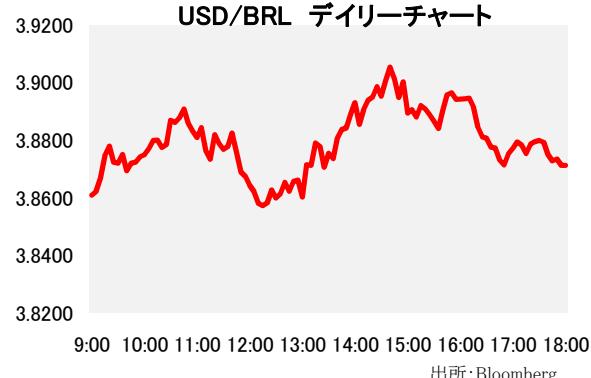
1. マーケット・レート

			12月9日	12月10日	12月11日	12月14日	12月15日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.7520	3.8120	3.8720	3.8730	3.8710	-0.0020
	BRL/JPY	Spot	32.33	31.90	31.19	31.19	31.45	+0.26
	EUR/USD	Spot	1.1025	1.0937	1.0990	1.0996	1.0914	-0.0082
	USD/JPY	Spot	121.24	121.65	120.79	120.82	121.76	+0.94
金利	Brazil DI Future	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	14.957 15.704	15.092 15.911	15.081 15.933	15.122 16.008	15.141 15.952	+0.019 -0.056
	On-shore USD	6MTH(p.a.) 1Year(p.a.)	3.337 4.272	3.305 4.184	3.249 4.197	3.240 4.192	3.164 4.084	-0.076 -0.108
株式	Bovespa指数		46,108	45,631	45,263	44,747	44,872	125
CDS	CDS Brazil 5y		460.05	481.79	497.73	473.05	454.18	-18.87
商品	CRB指数		177.560	177.028	174.856	174.263	174.227	-0.04

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

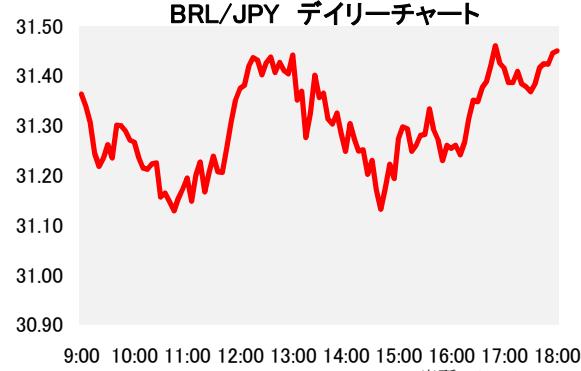
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
(米)ニューヨーク連銀製造業景気指数	-7.00	-4.59	-10.74
(米)消費者物価指数(前月比)	0.0%	0.0%	0.2%
(米)消費者物価指数(前年比)	0.4%	0.5%	0.2%
(米)実質平均週賃金(前年比)	--	1.6%	2.4%
(米)NAHB住宅市場指數	63	61	62
(米)ネット長期TICフロー	--	-\$16.6b	\$33.6b
(米)ネットTICフロー合計	--	\$68.9b	-\$172.7b



3. 要人コメント

トニビニ伯中銀総裁	レアル安はブラジル経済をより魅力的なものにしている。ブラジルの外貨準備はレアルの急落を防いでいる。通貨スワッププログラムの目標は金融の安定である。
-----------	---



4. トピックス

- 本日のレアルは3.8670で寄り付いた。レアルは朝方売りが優勢となり、3.89台まで下落した。その後、原油や株式市場の堅調を背景に反発すると本日の高値となる3.8510まで上昇した。11月の米消費者物価指数が前年比で予想以上に上昇すると、FOMCの政策金利発表を明日に控え、利上げ期待から米短期債利回りが上昇。ドルが買われてレアルは本日の安値となる3.9100まで反落した。引けにかけてはレアルが買い戻されて、結局寄り付きと同水準の3.8710でクローズした。
- 米国で原油輸出が40年ぶりに解禁される可能性が出てきたことを受けて、原油価格は上昇した。WTI先物直近限月ものは一時37ドル台後半まで上昇した。エネルギー株を中心に株式も上昇し、NYダウは寄付きから1%程度上昇し、終日高値圏で推移した。ボーナス指数は4営業日振りに小幅反発した。
- ルセフ大統領の支持率に関する世論調査は14%で前回9月から不变だった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。